

第3回南足柄市立中学校「制服のあり方」検討委員会 の概要

1. 日時 令和3年7月28日(水) 18:30~20:00

2. 場所 南足柄市役所 5階 大会議室

3. 出席者 検討委員11名・事務局

4. 協議内容

(1) 第2回南足柄市立中学校「制服のあり方」検討委員会の概要の確認

○事務局でまとめた概要を全体で確認し、承認される。

(2) 南足柄市立中学校「制服のあり方」に係るアンケート(2回目)の結果について

○事務局よりアンケート(2回目)の結果を報告し、以下の4点について話し合う。

①制服の検討に関する今後の方向性について

<アンケート結果から>

- ・制服を検討する場合、検討委員会が考えた方向性について「賛成」と答えたのは53.9%、「どちらかと言えば賛成」と答えたのは38.9%で、併せて92.8%が肯定的な回答であった。
- ・「制服がある方がよい」という方向性について「賛成」と答えたのは64.0%、「どちらかと言えば賛成」と答えたのは28.8%で、併せて92.8%が肯定的な回答であった。

⇒以上の結果から、検討委員会が検討した「新しい制服の方向性」について、多くの家庭が肯定的に捉えていることが確認された。

②新しい制服の導入時期について

<アンケート結果から>

- ・令和4年4月(現小学6年生)から・・・16.0%
- ・令和5年4月(現小学5年生)から・・・21.0%
- ・令和6年度以降・・・20.1%
- ・判断がつかない・・・42.1%
- ・無回答・・・0.9%

この結果を受け、委員から次のような意見が出された。

- ・決めること（制服のデザイン、ネクタイやリボン、学校でのルールなど）がたくさんあり、令和4年4月からというのは、早急である。
- ・新たなルールなどは子どもたちとよく話し合っただけで決めるべきだと思うので、時間的に余裕がある方がよい。
- ・令和4年4月からの場合、9月末までにデザイン等を決めなければならない。よりよいものをつくっていくことを考えれば、もう少し時間を設けて令和5年からの方がよい。
- ・「判断がつかない」という意見が42.1%ある。42.1%は大きいので、6年生の保護者がどう考えたのかが気になる。

※事務局から、アンケート結果について補足説明を行う。

- ・6年生の子どもがいる保護者の回答のみで見ると、「令和4年4月から」と回答した割合は、全体の約3割後半であった。
- ・5年生の子どもがいる保護者の回答のみで見ると、「令和5年4月から」と回答した割合は、5割以上であった。（「令和4年4月から」を含めて）

⇒以上のことから、次の3点が確認された。

- ・ルール作りや制服の変更の意図について子ども達と話し合い、理解を深めた上で、変更を進めていく。
- ・新しい制服についても、丁寧に、時間をかけて検討していく。
- ・アンケート結果や準備期間を考慮して、「令和5年4月から」変更するのがよい（ただし、特別な事情のある生徒がいる場合は個別に対応を検討する）。

③夏場のポロシャツの着用について

<アンケート結果から>

- ・ポロシャツの利用について「賛成」と答えたのは75.4%、「どちらかと言えば賛成」と答えたのは19.8%で、併せて95.2%が肯定的な意見であった。
- ・自由意見では、「夏服は長そで、半そでの両方を買う必要があり、費用面で負担が大きい」というものがあつた。

⇒この結果を受けて、次の3点が確認された。

- ・ポロシャツ利用について、中学校3校で話し合い、その実施の可否やルールについて検討を行う。

- ・ポロシャツの利用については、新しい制服の導入に先行して、令和4年4月からの利用を検討する。
- ・現6年生の家庭が、制服を購入する時期を考慮して、令和4年度からのポロシャツ導入が可能となった場合、できるだけ早く保護者に周知する。

④制服変更に伴う子どもたちへの教育や指導について

委員から次のような意見が出された。

- ・どのような子どもを育てたいかを考えていくことが大事である。
- ・子どもに対して、多様性の尊重や、多様な性のあり方などについて学ぶ機会を設けてほしい。
- ・スラックスやスカートが選べる制服に変わったとしても、子どもたちが着たいものを選べないようでは、意味がなくなってしまう。
- ・性別に関わらず、スラックスとスカートのどちらを選んでもよいことを周囲が受け入れられるような集団の雰囲気にならなければならない。
- ・学校だけでなく、家庭・地域なども含めて市全体で多様性が認められる社会をつくっていくことが大事である。
- ・私服にして自由な服を選んで着てもよいという意見もある。その考え方も大事にした方がよい。

(3) 取扱い制服メーカーの選定方法・制服のオーダーについて

○資料をもとに、制服の発注方法について事務局より説明を行った。

- ・制服の発注方法は、「分納（併売）式」と「メーカー一括式」の2種類であり、現在は「分納（併売）式」が採用されている。
- ・「分納（併売）式」は、色や型などを指定し、各メーカーがそれに基づいて制服を作るため、メーカーごとに素材を工夫したものが販売店に卸される。価格競争も促進され、良質で安価な制服が提供されることが期待できる。また、保護者は様々なメーカーからニーズに応じたものを選択できる。
- ・「メーカー一括式」は、全ての制服を1つのメーカーが作るため、品質や価格が統一されている。

⇒事務局の説明を受け、平等性を保つことができ、よりよい素材でより安価なものを購入ができる「分納（併売）式」で進めることが確認された。保護者が、様々な商品（制服）の中から、価格や品質等について幅広く検討した上で制服を購入することが望ましいという意見が出た。

(4) その他

○制服の価格や、今後の検討委員会の内容について、次の点を確認した。

- ・制服の価格帯については、平成 29 年の公正取引委員会「公立中学校における制服の取引実態に関する調査報告書」の記載を参考に、制服上下一式で「2万5千円～4万円」のものを選んでいく。
- ・「2万5千円」を下限とせずに、より安価なものがあれば、それらも対象とすべきである。
- ・制服のサンプル（実物）を見て、よりよいものを選んでいく。保護者や地域にも周知し、アンケートの協力を求めていく。
- ・令和4年3月までに新しい制服を決定する。

5. まとめ

○第3回の検討委員会で確認された方向性は、次のとおりである。

- ・検討委員会が考えた新たな制服の方向性で検討を進める。
- ・令和5年4月から新たな制服へ変更できるように進める。その際、子どもたちにも考えさせながらルールを決めていく事や、制服を変更する趣旨等について、子どもたちに丁寧に説明を行う。
- ・各中学校において、令和4年度から、夏服としてポロシャツの利用ができるように検討する。
- ・制服の発注方法は、「分納（併売）式」とする。
- ・制服の価格帯は、2万5千円～4万円（ただし、2万5千円を下回ってもよい）が望ましい。その価格を基準に業者と新しい制服の様式についての検討をしていく。
- ・令和4年3月までに新しい制服が決定するように準備を進める。